

貴重なキノコ、昔の言い伝えで、見つけた者は舞い踊って喜んだ ということで、まいたけ（舞茸）と名付けられたそうです

天然の「まいたけ」は、秋にミズナラやシイ類など、大木の根元に珊瑚のように生えています。北国の栗の木などの根元に生える「まいたけ」の姿はまるでいくつもの傘が折り重なっているようで、中には20kg、30kgという大物もあります。サルノコシカケ科のキノコで、自生するものを見つけるのは難しく、香りは絶品でコリコリとした食感をもちビタミン、ミネラル、食物繊維が豊富に含まれており、健康維持に良いといわれています。

昭和50年代中頃、人工栽培ができる様になり、少しずつ市場に出るようになりました。某栽培会社が2年ほどかけて開発したそうで、ほぼ独占的に市場に出ています。個人の栽培者は、東海地域では愛知県や三重県ではなく、岐阜県で2〜3人ほどだそうです。

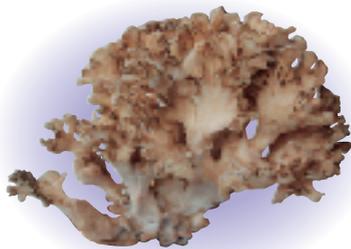
私は、趣味で「しいたけ」や「ひらたけ」を栽培して楽しんでいましたが、5年程前「まいたけ」のことを知り、業者に問い合わせたところ、大変難しいきのこのため、素人では無理ということでした。しかし、無理を言って菌を買い、一年ほど試行しましたが、全く菌すら成長せず、全滅の繰り返しでした。

殺菌、おが粉の荒さ、栄養剤量、湿度、光等設定してはテストをくり返し、やっと発芽するようになりましたが、温度、湿度、光、換気など、非常に厳しく管理しないと成長してくれませんでした。2年半ほどでやっと形ができるようになって、桑名の市場に出してみると値段は別として、売れていくではありませんか…。その時は本当に嬉しく思いました。 昨年の秋、小さな栽培室を建て、年間出荷に挑戦中です。しかし新しい課題も見つかり、いろいろと試行錯誤しています。「ふれあいの駅うりぼう」に出荷していますので、ぜひ一度ご賞味ください。

「健康に良く、どんな料理にも合い、みなさんに親しまれるまいたけを…」そんな思いで、毎日「まいたけ」と語り合いながら栽培を楽しんでいます。



種村 由明さん



古来から薬効のある
貴重なキノコと伝わる
「まいたけ（舞茸）」

「まいたけ（舞茸）の名前の由来」

古来から薬効のある貴重なキノコと言われ、江戸時代「まいたけ」は大変珍重され、東北地方の大名は幕府に献上したという記録があります。“幻のきのこ”ですから、簡単には見つからず、代官から命令が出て村人たちは深い山に入り、探し回りました。同じ重さの銀と交換されたほど貴重なキノコでしたので、見つけたときには村人は舞い踊って喜んだということで、この名前が付いたそうです。

問い合わせ先 藤原庁舎 農林水産課 ☎46-6306 FAX46-6319



天然のまいたけ

いなべ市情報誌「Link」

発行と編集 Vol.24

平成17年11月1日発行

いなべ市役所 企画部 広聴広報課

〒511-0293

三重県いなべ市員弁町笠田新田111番地

☎0594-74-5819 FAX 0594-74-5822

<http://www.city.inabe.mie.jp>

みなさまの声を

お聞かせください。



いなべマイタウン

心と体をリフレッシュ!!



提供者 北勢町 松下さんから(☎72-7835)

「棒ピクス」は、棒を使った簡単な運動とストレッチを行い、姿勢改善、体のバランス、腰痛予防に効果があります。

棒を支えているので誰でも簡単に運動することができます。

先生の指導のもと、音楽に合わせて運動しますが、毎回とても楽しく心と体をリフレッシュさせてくれます。

この「棒ピクス教室」は、毎週土曜日(月に4回)北勢福祉センター2階で、10:00~11:00まで行っています。お気軽に見学に来てください。

みなさまの身近なできごとをお知らせください

読者のみなさまから投稿をお待ちしています。また、いなべ市内で撮影された写真についても併せて募集していますので、どんどんお寄せください。



※古紙配合率100%再生紙を使用

